

令和5年度 学校関係者評価書

学校園名 附属竹早中学校

1 学校関係者による評価

領域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	<p>評価できる点として、①新型コロナウイルス感染症の五類移行を受けて、感染防止に留意しつつ、授業及び学校行事をほぼコロナ前の水準で実施することができたこと、②「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」の第2ステージとして研究ならびに実装化を進展させたこと、③ホームページをリニューアルし、コンテンツを充実させるとともに、情報発信のためのプラットフォームを整えたこと、④後期よりスクールサポートスタッフ（SSS）が配置され、校務の支援に大きく寄与したこと、⑤学級担任と生徒との面談を中心に、問題が起こった時には学年の教員が協力して対応に当たったこと、⑥運営委員会を中心に生徒一人一人についての見取りを教員間で共有・連携する体制が整えられ、特別な支援を必要とする生徒についての理解や情報共有も進んだこと、⑦いじめや、いじめが疑われる事案が起こった場合には、すぐに教員及び管理職で情報を共有し、即応する体制ができ、機能していることなどが挙げられる。</p> <p>課題として、①ホームページのコンテンツを随時更新し、本校の教育・研究について情報発信していくこと、②校務の効率化を図り、教員の仕事の負担や勤務時間の適性化を進めていくこと、③生徒の些細な変化の見取りと共有化を一層進め、必要に応じてSSWやスクールロイヤーなどのアドバイスを受けつつ、個別の対応を進めること、④特別な支援を必要とする場合や、家庭の困難な状況を抱えている場合の多職種連携のチームによる生徒指導について、教員が学べる場を作ること、などが挙げられる。</p>
教育活動	<p>評価できる点として、①連携研究の成果を生かした主体性を育む授業を進め、生徒の希望に基づくDプロジェクトを実施したこと、②コロナ禍の制限を解除し、学校教育本来の姿である「ともに学ぶ」環境を再び実現できたこと、③校外学習、運動会、文化研究発表会、合唱コンクール等の行事において、生徒が協力して準備・運営し成果を挙げたこと、④多くの生徒が時間をかけてじっくりと研究に取り組み、質の高い内容を文化研究発表会で発表できたこと、⑤特に3年次においては一人一人にきめ細かな進路指導を行い、全員の卒業後の進路を確定することができたこと、⑥コロナ禍において中断していた周辺5町会長との連絡協議会を再開し、意見交換をすることができたことが挙げられる。</p> <p>課題として、①幼小中連携教育研究の成果を教科教育及び生徒指導に一層生かしていくこと、②GIGA端末の不適切使用の事例が発生しており、SNSの使用法などを保護者と協力して改善していく必要があることが挙げられる。</p>
研究活動	<p>評価できる点として、①「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」の第2ステージとして、プロジェクトに参加するチームを拡充し、外部との連携、誰一人取り残さない学びの保障、教育におけるDXを柱に、本プロジェクトを進展させ、その成果の第一弾が2024年1月20日開催の公開研究会で発表され、第二弾として研究紀要において幼・小・中の教員が教育実践と研究の成果を発表したことが挙げられる。今後の課題として、「未来の学校みんなで作ろう。プロジェクト」第2ステージにおいて、特別教室のリニューアルなど、</p>

	その実装化を進めていくとともに、授業実践などに生かし、研究及び実践の成果を書籍化するなどして発信していくことが挙げられる。
学生の教育・支援活動	<p>評価できる点として、教育実習において、①指導案の作成指導を丁寧に行い、実習生もそれに応えて工夫を行ったこと、②授業後には授業者としてのふり返しを行うとともに、実習生全員で授業考察を行うなど、教科内で実習生と教科教員で成果と課題を共有し、情報交換や助言を行う機会を確保したこと、③学生が生徒と接触できる場面が増え、自らの適性の判断に資することができたことが挙げられる。</p> <p>課題としては、①教科指導だけでなく生徒指導等の体験も積ませること、②学級経営について、実習生同士で考えさせたり担当教員の話聞くことで、現場感覚を持ってもらうよう努めること、③個々の学生に応じた指導を強化していくことが挙げられる。</p>
社会貢献活動	<p>評価できる点として、①実践研究の成果を公開研究会や研究紀要として発表したこと、②教員が自身の実践研究について学会発表及び学会誌等での論文発表を行い、委員や研修講師の委嘱で外部機関に協力したこと、③複数の教員が教科書の編集や執筆に関わり、教育界に貢献をしたことが挙げられる。課題として、①情報発信を強化していくこと、②地域のモデル校、地域の研究拠点校としての役割を強化していくこと、③国際交流活動等へ参加を検討していくことが挙げられる。</p>

2 評価の実施概要

学校関係者評価委員会において、学校経営計画、重点目標の説明、自己評価の結果説明を実施し、学校関係者委員の意見を聴取した。

3 学校関係者委員会委員、開催日

古谷顯史郎（教育後援会会長） 白石英行（同窓会理事） 大曾根 治（PTA会長）

馬場哲生（校長） 森 顕子（副校長）

①令和5年7月14日（土） 10時30分～11時30分

②令和5年12月27日（水） 13時00分～15時00分

③令和6年4月3日（水） 17時30分～19時00分

④令和6年5月29日（水） 書面開催